

(公印省略)

高齢福第2396号

令和2年12月4日

高齢者入所施設の管理者 殿

大分県福祉保健部高齢者福祉課長

新型コロナウイルス感染者数の増加を踏まえた
対策の徹底について（依頼）

今回の新型コロナウイルス感染症につきましては、日頃から感染予防対策にご尽力くださり、感謝申し上げます。

さて、先月より県内においても感染者数が増加しており、また、高齢者施設においても、職員の感染が続く事態となっております。

つきましては、貴職におかれましては、今後、年末年始の会食の機会が多くなる時期を控え、貴施設の職員に対し、別添の資料を参考に、会食時等における感染リスクを回避する行動を取られるよう、周知徹底いただきますようお願いいたします。

記

【送付資料】

- 1 感染リスクが高まる「5つの場面」
- 2 会食時における留意事項について

[お問い合わせ先]

高齢者福祉課 介護サービス事業班

担当：梶原、中村 TEL (097) 506-2682

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面①

飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面②

大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③

マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④

狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤

居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



【県民の皆さまへのお願い】

会食時における留意事項について

大分県福祉保健部感染症対策課

本県における新型コロナウイルスの感染状況は、散発的な発生にとどまっていたましたが、11月17日に飲酒を伴う会食でのクラスターが発生し、翌18日には、そこでの感染者から別の会食の場を通じて、感染が広がっていたことが確認されました。

県民の皆さまには、改めて、会食の際は下記の点にご留意いただきますようお願いいたします。

1. 「配席の工夫」をお願いします。

(工夫例)

- ・ 同一グループであっても、4人以下の単位になるようテーブルを分けたり、一定の間隔を置く。
 - ・ 座席の配置は斜め向かいにする(正面や真横は避ける)。
2. 「大声での会話」や「密集・密接での会話」を避けてください。
3. 会食の場でも会話する時にはマスクを着用してください。
4. 箸やコップなどは使い回さず、一人ひとりで使用してください。
5. 会食の参加者が把握できるようにしてください。
- ・ できれば、「接触確認アプリ (COCOA)」のインストールをお願いします。